

県文化功労者

藤田さんら8人

県は29日、今年の県文化功労者8人を発表した。選ばれたのは文芸の藤田和乎さん(93)、美術・工芸の佐々木悌治さん(90)、民生・社会福祉の天明佳臣さん(89)、産業の山本次夫さん(85)と齊藤健悦さん(75)、農林業・漁業の船木耕太郎さん(73)、保健衛生の山本文雄さん(73)、技芸の鈴木鈴秋さん(3月11日死去、享年71)。表彰式は10月29日に県庁で行う。

県文化功労者表彰は、本県の文化発展に功績のあった個人や団体を顕彰しようと19

56年に始まった。各市町村や団体の推薦に基づき選考委員会が審議し、知事に答申する。今回の選出で功労者は450人、7団体となった。

主な功績は次の通り。(敬称略、年齢順)



佐々木悌治さん



藤田和乎さん



山本次夫さん



天明佳臣さん

▽藤田和乎 県歌人懇話会会長を務め、県内歌壇の隆盛に貢献。短歌結社「白路」同人。秋田刑務所では30年間、篤志面接委員や短歌クラブ講師として受刑者の更生に当たった。秋田市。



船木耕太郎さん



齊藤健悦さん

▽佐々木悌治 99年に大館曲げわっぱ伝統工芸士の認定を受け、05年現代の名工。大館曲げわっぱ協同組合で体験講座の講師を引き受けるなど、曲げわっぱの普及に貢献した。秋田市。



故鈴木鈴秋さん



山本文雄さん

▽天明佳臣 87年に県出稼組合連合会の有志と出稼者との訪問健診を提起。以後09年まで23年間、県内市町村の委託事業として訪問健診に携わり、出稼者の健康維持を図った。大館市。

▽山本次夫 ナマハゲ伝導士制度やなまはげ太鼓などを通じ男鹿半島の観光を振興。県温泉協会会長として昨年「温泉の日」を定め、コロナ禍で苦境にある温泉業界のPRに取り組んだ。男鹿市。

▽齊藤健悦 県貿易促進協会の設立に関わり、協会の礎を築く。会長就任後は東南アジアとの経済交流を推進。県電子工業振興協議会長も務め、県内企業の貿易取引の拡大にも尽力した。井川町。

▽船木耕太郎 JA秋田中央会など県内JA4連の会長として、県単一JA構想を掲げた。野菜などの大規模生産を図る県の「園芸メカ団地」の導入も支援。本県農業の発展に寄与した。秋田市。

▽山本文雄 心血管疾患の治療、地域医療体制の構築など医療技術の向上に寄与。秋田大学長として教育・研究施設の充実を図った。高齢者医療、自殺予防の課題解決にも尽力した。秋田市。

▽鈴木鈴秋 本名・道雄。県三曲連盟会長を務め、加盟各流派の融和と邦楽の裾野拡大に取り組んだ。05年から秋田子ども和楽器合奏団を主宰、後進の指導・育成に貢献した。潟上市。

て決定する見込み、警戒レベルを3にすれば、50日ぶりとなる。

県は対策本部会議に向け、警戒レベルの引き下げに合わせる。先月下旬には上限の50%に

去最多となった一方、今月に象とした行動制限の緩和も段階的に進める方針を示している。(佐藤朋紀)